

# 三原市立大和中学校区で育成を目指す情報活用能力(情報の収集)に関する各教科の具体例

## ～国語科～

### 学 年

中学校第1学年

### 単 元 (題 材)

情報を関連付ける(防災リーフレットを作ろう)

### 内 容

[知識及び技能]

(2) 情報の扱いに関する事項

イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。

B 書くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

### 見方・考え方

言葉による見方・考え方を働かせるとは、生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

### 学習目標

防災リーフレットに掲載する内容に沿った情報を収集することができる。

### 情報の収集の型

1 インターネットで情報を収集する

### 情報の収集の具体

参考文献

「災害が起きる前にできること」 首相官邸ホームページ

(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>) 2025/1/14 アクセス

教科書には「大地震に備えている対策」（出典：内閣府 H29 年度「防災に関する世論調査」）についてのアンケート結果と「「みんなでいるから大丈夫」の怖さ」（著者：山村武彦）が掲載されている。これらの教材で防災について学んだ後、地域の防災意識を高めるためにはどのような情報をリーフレットにまとめればよいかを考え情報を収集した。なお、インターネットでの情報の収集は政府機関や信憑性の高い企業のホームページを紹介したのちに行った。